

2 課題別まちづくり行動計画

地域の活性化

《基本施策》住民のつながりが深まるまちづくり

○住民が、地域の課題解決のために自ら行動し、つながりを深め、地域を活性化します。

《今後の行動》

(1) 地域行事の活性化

- 行事ごとに実行委員会をつくり、時間をかけた行事づくりをします。
- 子どもや高齢者など幅広い層に配慮した魅力ある内容になるような工夫をします。

引野学区にはどんな行事がありますか？



主な行事には、夏まつり（8月）、敬老会（9月）、大運動会（10月）、文化祭・芸能祭（11月、隔年ごと）、防災訓練（11月）、とんど祭り（1月）があります。その他にも、団体ごとの行事があります。また、川掃除などのボランティア活動もあり



(2) 学校と連携して活性化

- 地域と保育所、小学校、中学校と連携した行事づくりを進めます。
- 「一ツ橋中学校区ばーとな一本部」を通じた地域と学校・家庭との相互支援をします。

一ツ橋中学校区ばーとな一本部とは？

一ツ橋中学校とその学区内の引野・長浜・手城の各小学校と地域と保護者が相互支援して、子どもたちを育てるための組織です。

その活動が評価され、2012年に文部科学大臣賞を受賞しました。

- 地域行事・ボランティア活動に児童・生徒・保護者の参加を広げます。
- 学校行事・学習活動・学校環境整備・児童の安全の見守りなどの支援をします。
- 「引野学区放課後子ども教室」を支援し、子どもの安心・安全の場を作ります。

放課後子ども教室とは？

小学校の児童が放課後、安心・安全に過ごせるように地域ボランティアが運営しています。引野学区では2012年に開かれ、集会所・公民館で年30数回教室が開かれています。現在50名ぐらいのボランティアが関わっています。

他に小学校高学年児童・中学生の学力支援をするために「土曜チャレンジ教室」が行われています。

- 地域と学校で連携した防災活動を進めます。

(3) 自治（町内）会の力量を高めて活性化

- 災害時に住民を守るような自治組織の整備と活動の提起をします。
 - ・自治（町内）会ごとの自主防災組織作りと訓練に取り組みます。
 - ・災害時に支援が必要な人に支援ができるよう取り組みます。

(4) 地域貢献者への顕彰制度による活性化

- 長年地域活動などに貢献された方を地域行事の場で顕彰します。

自治力を高める

《基本施策》住民の力で地域の課題を解決しようとするまちづくり

○地域住民がつながりを深め、さらに事業所などとの連携を広げることで、地域の自治力を高めることをめざします。

現状

学区には12の自治(町内)会があります。その中には加入率がほぼ100%のところもあれば、半数以下のところもあります。全体は60%弱の加入率になっています。福山市平均加入率は65.7%(2013年4月現在)です。

学区内には多くの事業所・商店があり、溝掃除・川掃除など地域の課題に取り組むためには連携・協力は欠かせません。しかし、協力関係はこれまで部分的で、意識的な取り組みはありませんでした。災害時の対応などを想定すると、支援し合う関係を作ることはとても大切です。

《今後の行動》

(1) 自治(町内)会への加入率を高めることに力を入れます。

自治会に入れば、
さまざまな役立つ
情報が手に入るよ。



楽しい行事
にも参加で
きるよ。



多くの人とも
つながりがで
きるよ。



自治会に
入ろうよ。



(2) 自治組織と事業所との連携を深めます。

(そのために)

- 自治組織と地域の事業所が連携するための連絡協議会を設立します。
- 溝掃除・川掃除、清掃活動などやりやすい連携の場を積み重ねていきます。



(3) 役立つ情報誌「引野学区版くらしの応援ガイド」を作成します。

- 学区内の全ての世帯・事業所に役立つ情報を掲載した「応援ガイド」やさまざまな情報を提供します。



安心・安全

《基本施策》 災害に強いまちづくり

○自分の命は自分で守り、そして大切な家族・地域を守り、災害に強いまちづくりをめざします。

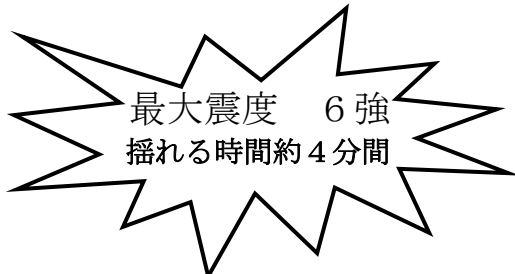
引野学区の地形と災害

引野学区は、丘陵部と平地部が半々となった地形となっています。平地部は、江戸時代初期に干拓で形成されたため、海拔0m前後になっています。

加えて丘陵部が宅地化されたため、保水能力が低下しています。そのため、平地部では水害が起きやすく、丘陵部では急傾斜地も多く、がけ崩れが起きています。

◎ 南海トラフ巨大地震による福山市の被害想定

(2013年11月 広島県危機管理課発行 広島県地震被害想定調査報告書より)



- ・立っていることができない。
- ・はわないと動くことができない。
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる。
- ・耐震性の低い住宅は傾き、倒れるものが多い。



最高津波水位 3.3m
(津波の高さ1.2m)
最大波の到達時間 4時間30分



引野学区の海拔と津波

学区内各地点の海拔

⇒3.3mの津波の場合の浸水高)

四丁目公園北西角	0.1m⇒3.2m
福山東郵便局	-0.2m⇒3.5m
東福山駅	-0.2m⇒3.5m
J A引野	-0.1m⇒3.4m
引野公民館	5.8m

南海トラフ地震は、静岡県駿河湾沖から九州東方沖の深さ約4,000mの海底のくぼみ「南海トラフ」で起こる地震で、大きな被害が予測されているよ!!



《今後の行動》

防災研修会・防災訓練の充実をはかり、防災意識・知識・技能を習得し、災害に備えます。



各自治（町内）会単位で自主防災組織を設立し、素早い対応で減災をはかります。



地域と学校と連携し、防災訓練を実施します。



自分の命、家族の命を守るために、防災家族会議を進めます。



『引野防災新聞』を発刊して、防災知識を共有し、地域防災の強化をはかります。

《津波による浸水予測（引野学区）》

最大の津波の場合、引野学区の平地には、3m～4mの海水が入ってくることもあるんだね。



家族で、どこに逃げるといいか決めておかなくては！



防災フェスタ2013で津波被害を学ぶ

環 境

《基本施策》 住み続けたい、いい環境のまちづくり

○住民と事業所、子どもたち、行政が協力して地域環境をよくすることをめざします。

《今後の行動》

- (1) 行政と協働して川・用水路などの掃除を進めます。
- (2) 地域と学校と家庭が連携した地域清掃活動「クリーンアップ作戦」を推進します。
- (3) 谷地池などへのごみの不法投棄を防止する対策を立てます。
- (4) ごみ出し問題について交流・学習をし、課題解決に取り組みます。

川掃除をすると、どんないいことがありますか？

住んでいるところがきれいになるし、洪水や津波被害を少なくすることもできるよ。それにみんなのつながりもできるよ。



文 化 活 動

《基本施策》 心が豊かになるまちづくり

○文化行事・自主活動でつながりを深め、くらしを楽しく、豊かにすることをめざします。

《今後の行動》

- (1) 地域の歴史を掘り起こし、記録し、広く伝えます。
- (2) ばら講座を充実させ、ばらづくりのネットワークを広げます。
- (3) サークルなどが広がるように文化活動を支援します。



昔のくらしを語る会

ばらづくり講座



子育て支援・学校支援

《基本施策》子どもが安心してくらするまちづくり

○子どもたちを地域全体で育てるという意識を高め、子育てしやすい環境をめざします。

《今後の行動》

- (1) 子育てをする親が集える場「おもちゃサロン」を支援します。

おもちゃサロンとは？

乳幼児を育てる親の集いの場、子育てを学ぶ場。安心して集えるようにボランティアが、子どもたちのお世話をします。月1回程度、集会所で開いています。

- (2) 放課後子ども教室が発展できるように支援します。

- (3) 一ツ橋中学校区ぱーとなー本部を通して、学校・家庭・地域の相互支援を進めます。

- (4) ジュニアクッキング(子ども料理教室)を続け、子どもたちの食への関心を高めます。

- (5) 地域のボランティアを広げます。

- 児童の登下校の安全を守る「見守り隊」、学校の校外活動の見守り支援
- 交通安全のための自転車乗り方教室、交通少年団などの育成
- 学校の学習支援(教科・総合的な学習支援、読み聞かせ、防災訓練など)
- 教育環境づくり支援(ばら花壇、菊作り、清掃、図書ボランティアなど)



高齢者支援

《基本施策》高齢者が安心してくらするまちづくり

○高齢者が生きがいを持ち、安心してくらするまちづくりをめざします。

《今後の行動》

- (1) 高齢者が気軽に集える場(サロン喫茶など)をすべての自治(町内)会につくれるよう支援します。

- (2) 高齢者が生きがいを持てる場を多く作ります。

- 経験を活かせるボランティア活動の場
- 趣味などを学べる場
- 世代交流ができる行事などの場
- 寿光会(老人会)活動の支援

- (3) 高齢者向けのシニア料理教室で食生活を改善できるよう支援します。

- (4) 敬老会をさらに充実させるための工夫をします。

- (5) 高齢者の困りごとの支援をします。

- 日頃からの声掛けなどによる安否確認、困りごと相談
- 災害時の支援体制づくり
- 高齢者の支援方法の研修(介護講座など)

